広域人事だより

平成２３年１０月１４日発行

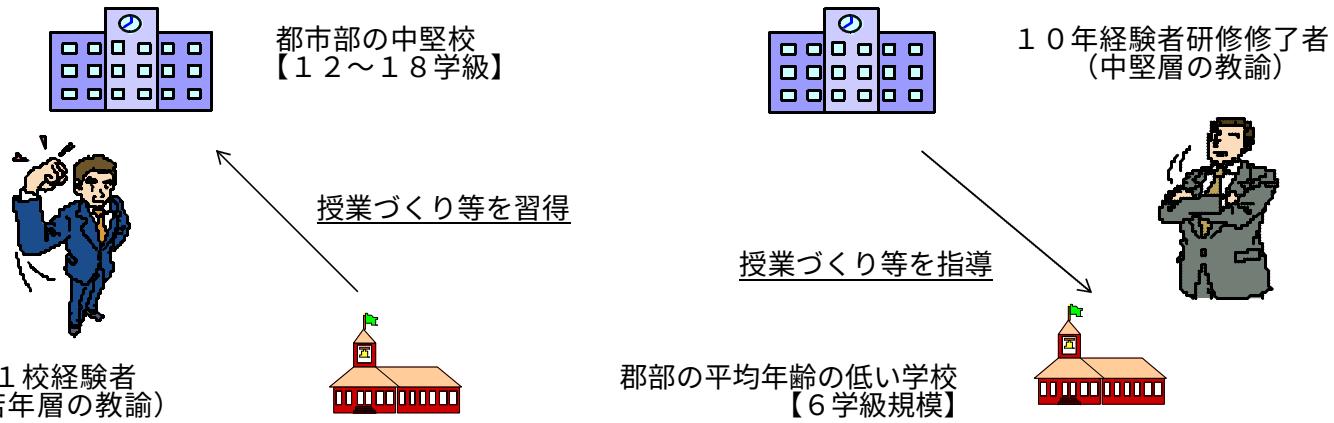
北海道教育庁総務政策局
教職員課小中学校人事Ｇ
＜第１号＞

広域人事とは？

教職員の全道的な適正配置を推進することにより、地域における学力向上や生徒指導等教育課題の改善に取り組み、もって、全道的な教育水準の維持向上を図ることを目的としています。

実施方法としては次のとおりです。

○他管内において原則３年間勤務し、その後は元の管内に戻ります。
○全道１４管内を５地域に区分し当該地域内で平均年齢の高い管内と平均年齢の低い地域を有する管内との間での異動を基本とします。
○石狩管内にあっては、地域枠を設定した管内との異動も実施します。



【制度のねらい】
○平均年齢の高い管内の中堅層の教諭が、平均年齢の低い地域を有する管内の学校に異動し、異動先で教育実践の中核を担った後、元の管内に戻りその経験を活かします。
○平均年齢の低い地域を有する管内の若年層の教諭が、平均年齢の高い管内の学校に異動し、異動先で力量を身につけた後、元の管内に戻り力量を発揮します。
○広域人事により、学力向上等の様々な教育課題に対応します。

広域人事で異動した先生方からの近況報告

今年度からスタートしました広域人事で、総数３５名の先生方が異動され、半年が経過したことから、近況報告をお願いしたところ、多数の先生方から届きましたので御紹介させていただきます。

現任校	旭川市立春光台中学校　（前任校）遠軽町立遠軽中学校	氏名	石川　寛

○　地域の様子

旭川市立春光台中学校に赴任して半年が過ぎようとしています。

春光台は中心部から急な坂を登った高台に位置しています。歩道には花が植えられ、福祉施設が充実し、子供から大人まで住みやすい土地柄に心が安らぎます。

また、地域ぐるみでのイベントが催され、地域が一体となって教育活動が進められています。学校行事だけでなく生徒会活動や部活動でも、生徒が地域の中で活躍する場面が旭川市内の中でも多いと感じています。

○　新任校での勤務状況等

２学年の担任を務めさせていただき、明るく、素直な生徒たちに囲まれながら毎日楽しく学級経営を行っております。

校務分掌の生徒指導では、情報を共有しながら、一貫した指導方針をもって同僚の先生方と連携して取り組んでいます。学校全体としてはもちろん、学年や分掌でも指導の視点を共有し、指導方針や情報、対応策などを共通理解して進めていく体制があります。

また、旭川市内での生徒指導の連絡協議会もあり、他校生との関わりや各学校の近況などを、連携を密にしながら生徒指導に当たっています。

市内の教育研究会（理科部会）の中心的な役職に推薦していただき、公開研究会に向けて授業を作り上げていく過程に関わらせていただいています。改めて、授業力の向上の重要性を感じています。

○　生活の状況
　上川管内の先生方とのつながりもでき、多くの考え方や取り組みを得る機会が増えました。オホーツク管内の先生方とも、時々お会いしたり、連絡をいただいたりしながら、引き続き教師として大切なことをご指導していただいたりしています。
　２つの管内の教育に携わることができるこの機会に、多くのことを学び、良さを取り入れながら、公教育の在り方について考えていきたいと思っています。

現任校	北広島市立東部中学校　（前任校）京極町立京極中学校	氏名	酒井　佑里子

○　地域の様子
　緑豊かな北広島市の市街地の東側に位置しており、周囲は農地が広がっています。近年は、学校周辺の住宅地造成が進んできました。地域の方々に温かく見守られながら、生徒は生き生きと学校生活を送っています。生徒は非常に穏やかで心優しい生徒が多いです。

○　新任校での勤務状況等
　現在１学年副担任、１学年全学級の社会科担当、１学年全学級の英語のＴＴ、校務分掌は保体部体育係、部活動はソフトテニス部です。

　教科では、一つの学年を複数持つことは初めてであり、同じ授業を行っても学級によって生徒の反応が全く違うことを、身をもって体験しました。例えば、ある学級では一つの発問で生徒が理解できても、他の学級ではさらに一つ発問を追加しなくてはいけないということがあります。
　また、同じ指示でも、学級によっては、さらにかみくだいた細かい指示が必要であることも学びました。英語のＴＴにも入り、他教科の先生の授業を間近で見ることができ、生徒の指導方法や、温かい視線の送り方、普段は目の届きにくいところへの生徒の支援方法を学びました。
　校務分掌では、主に部活動の会計の仕事、体育委員の指導を行っています。会計は、今までとやり方が全く違い、はじめは戸惑っていたものの、周りの先生方の協力により、的確に早く効率の良い仕事の方法を教わりました。体育委員の指導は、前任校での生徒会の仕事の経験を活かし、生徒の自主的な取り組みを入れ生徒に活動を多くさせるよう努めています。まだまだ生徒自身からの自主的な活動は足りないため、次年度以降は生徒に多くの成功体験をさせ、伸ばしていきたいと思います。
　部活動では、未経験である女子ソフトテニス部の顧問を担当し、本格的な部活動指導にあたるのは初めてですが、慣れない中でも先生方の協力をいただき指導を行っています。新しい取り組みとして部活動ノートを作り、生徒の成長を記録として残し、指導者同士で連携を取り合い、指導をしています。

○　生活の状況
　大学時代札幌市に住んでいたこともあり、勤務先から車で２０分ほど離れた厚別区で１人暮らしをしています。現在何不自由のない生活をしています。

○　その他
　広域人事により、今まで経験できなかったことをたくさん経験させていただいております。職員室も温かな雰囲気で、自分と同じ年代の先生は少ないのですが、その分、年配の先輩方に教わる機会がとても多く感謝の気持ちでいっぱいです。短い期間ではありますが、どの学校に勤務しても対応できることを、数多く経験したいと思います。

現任校	利尻町立仙法志中学校（前任校）千歳市立北斗中学校	氏名	石川　順一

○　地域の様子
　仙法志中学校は、昆布とウニで有名な利尻島の南端部に位置し、フェリーの着く鴛泊港からは最も離れた場所にある。ほとんどの家庭が漁業関係者である。人口の最盛期は昭和30年ころのニシンのあがっていた時期であり、昭和４０年代には人口2000人を擁した集落であったが、現在はその3分の1もいないのが現状である。夏は多くの観光客が訪れるが、冬は地域の中に閉じ込められることも多いと聞いている。全校生徒は12名、6学級(各学年に特学がある)というかなり特色のある学校である。

○　新任校での勤務状況等
　現在、1年生3名の担任であり、校務分掌は研修部道徳・進路担当、バドミントン部副顧問という職務が与えられている。本校は本年度宗谷の道徳教育推進指定校になっており、研修部長を支える道徳教育推進教師という立場である。研修については非常に熱心な学校であり、授業改善や家庭学習の時間・内容の改革などに熱心に取り組んでおり、その推進に励んでいる。

○　生活の状況
　教員間の結束は固く、公私にわたり協力しながらの生活である。私の住んでいる教員住宅は比較的新しく思った以上に快適である。離島の生活ということもあり不便な生活を覚悟していたが、島内にはコンビニエンスストアもあり、生活に必要なものに不自由することは少ない。今後、冬を迎えるにあたって、船の便も減り、欠航も多くなると生鮮食料品が不足したり、島から出られなかったりということも聞かされているがやっていけそうな気がしている。

○　その他
　広域人事を希望するにあたって、応援してくれた人も多かったが、周囲からはなぜ石狩から離れるのか、なぜ現在の立場を捨てられるのか奇異な目を向けられたのも事実である。私自身のなかにも多くの迷いもあったし、周囲に迷惑がかかるのも十分にわかっていながらこの人事に応募した。現在半年を経過した時点では、この決断は間違ってはいなかったと考えている。自分自身を見つめ直し、教師の在り方を見つめ直し、今後のことを今までとは違った視点で考えられている。誰にでも勧められるものではないが、私にはチャンスであったと思っている。

現任校	釧路市立大楽毛小学校　（前任校）別海町立別海中央小学校	氏名	齋藤　文秀

○ 地域の様子
　大楽毛は釧路市の西端に位置し、西側に丘陵、北側に湿地帯、南側を太平洋に囲まれた平坦な地域である。
　大楽毛（おたのしけ）の地名は、見えるアイヌ語のオタニ（砂地）ノシキ（中央部）が語源で、古く江戸時代頃から見られる地名である。
　開拓の歴史は、明治２０年代に大楽毛原野などの植民区画を国の事業で実施。明治３４年に大楽毛駅が開設されたが、当時の入植者は少なかった。明治４４年に大楽毛家畜市場が開設され、第一次大戦後の好景気を背景に大楽毛は日本三大馬市へと成長していった。
　昭和２４年、釧路市と鳥取町、更に白糠村の一部が釧路市に合併したのに伴い、釧路市大楽毛となった。当時の戸数は約１５０戸ほどだった。昭和３２年に本州製紙（現在の王子製紙）が大楽毛に工場を建設することになり、工事関係者や従業員によって人口が増え、大楽毛は急激に発展していった。昭和４０年には、釧路工業高等専門学校が開校し、製紙工場と並んで大楽毛のシンボル的存在となっている。昭和４２年にはよつ葉乳業根釧工場が操業を開始した。昭和４５年からは、大楽毛のあちこちで土地造成により建築ブームが起き、世帯数も大幅に増加していった。昭和４８年からは、水産加工団地の始まり、こうして現在の大楽毛地区がつくられていった。

○　新任校での勤務状況等
　担当学年　：　第５学年　担任
　校務分掌　：　保体部
　取組状況　：　担当学年では学年主任を務める。

○　生活の状況
　今年の４月に別海町より釧路市内に家族５人（妻・子ども４人）と共に移転。
　現在居住する地域は、子どもたちが通う幼稚園、小学校、中学校がいずれも徒歩１５分圏内にあり、教育環境も整っている。また、現在勤務している大楽毛小学校へも、自動車で２０分程度でとても便利である。自宅近くには各種医療機関，大型の商業施設やスーパーが数多く存在し、家族で安心して生活することができる住みよい環境にある。

○　その他
　平成１８年４月に家族と共に福岡から北海道に移転し、前任校のある根室管内の別海町で５年を過ごしました。この春からは、再び広域人事で家族共々釧路管内へと移り住み、現在の大楽毛小学校に勤務しています。
　新しい環境に自分の身を置くことはとてもよい刺激になり、さまざまな学校の実践を知ることで視野を拡げることができています。現在校の大楽毛小学校においても、素晴らしい実践を自分の中に吸収すると同時に、これまでの学校で培った経験を活かしながら、新しい風を注ぎ込むことも自分の使命と考え、日々の実践に努めてまいります。

現任校	白糠町立白糠中学校　（前任校）帯広市立西陵中学校	氏名	乙戸　貴宏

○　地域の様子
　海、山、川に囲まれた白糠町は大変自然に恵まれ、教育環境が整っており、学習するのに最高の条件がそろっています。
　地域の人々も、大変温かく、学校行事に対しても多くの方が、積極的に協力するなど、学校と地域が一体となる風土がここにはあります。

○　新任校での勤務状況等
　こちらの学校では、３学年に所属し、１、３学年の英語を教えています。本校の英語は、習熟度別学習を行い、「分からない生徒を出さない」という方針で学習を進めています。また、長期休業中には、講習会を開き、下位の生徒だけでなく、上位の生徒にも対応しています。
　校務分掌は、教務部に所属し教育課程、研修など本校の課題を改善できるように話し合いをしています。

○　生活の状況
　初めての単身赴任で不安もあったのですが、家族の協力のもと生活しています。３才の子どもに会えないのはとても寂しいのですが、週末会えるのを楽しみに生活しています。余暇を楽しむ余裕はまだありませんが、白糠を知るために発見を多くしていきたいと思っています。

○　その他
　同じ管内にいると見えないことも他管内に来ると見えることがあります。北海道の子どもたちを育てる観点で中堅、ベテラン教諭が積極的に他管内に移動する気持ちが大事だと思います。

現任校	乙部町立乙部小学校　（前任校）函館市立えさん小学校	氏名	新栄　克俊

○　地域の様子
　子ども達はのびのびと生活し、保護者も学校への関心が高く、協力的です。地域の様子については勉強中です。

○　新任校での勤務状況等
　５年生を担任しています。校務分掌は研究部です。本校では、習熟度別少人数指導に関しての研究を進めています。
　学校・地域に関しては転勤１年目ですから、まず新しい学校に慣れ、学校の様子をつかむことから始めています。

○　生活の状況
　管内が違いますので知り合いもおらず、学校のシステムや地域の行事はわからないことがたくさんあります。普段は家と学校を往復する毎日です。
　休日は、ミニバス少年団の遠征に、コーチとして同行してお手伝いしています。

現任校	中標津町立中標津小学校（前任校）釧路市立湖畔小学校	氏名	種市　文彦

○　地域の様子
　中標津町は根室内陸の中核都市として、基幹産業である酪農を中心に交通や経済の要所としても栄えている活気あふれる町です。市街地には比較的規模の大きな小学校が３校あり、中標津小学校はその中で一番歴史の古い伝統校です。野球やサッカー、バレーボールなどのスポーツも盛んですが、音楽文化も栄えており、中標津小と丸山小の合唱部が合同で全国大会に出場するなど、文化面でも輝かしい実績もあげています。

○　新任校での勤務状況等
・中標津小では、教務主任として教育課程の編成や教育計画の立案、その他の連絡調整や指導助言等に従事するほか、フリー教諭として少人数学習指導等の指導支援にも携わっています。
・学習指導要領の改訂に伴う評価の工夫改善に関しても、評価規準の見直しや通知表の作成等において先導的な役割を果たせるよう努めています。

○　生活の状況
・学校に隣接した教員住宅で単身生活を送っています。週末には自宅のある釧路に戻り、家族と過ごす時間も確保させていただいております。
・生活に必要なものは町内でほぼ賄えるほど便利なため、生活面で不便を感じることはほとんどありません。

○　その他
・現任校は若手教諭だけでなく、中堅やベテランも在職しているバランスのとれた職員構成で、教育研究も活発に取り組まれています。その恵まれた環境の中で、これまでの経験をフルに生かしながら、若手とベテランの橋渡し的な役割も果たしたいと思っています。
・根室管内の学力向上トリプルアップ事業の取り組みにも関わらせていただいており、確かな学力の定着に向けて、授業改善や参考事例の普及・啓発等にも全力をつくしたいと思います。

現任校	天塩町立天塩小学校　　（前任校）旭川市立北光小学校	氏名	岩谷　孝二

○　地域の様子

留萌北部の中核的な役割を担う天塩町ですので、大きな町立病院があり、道や国の出先機関があり活気のある町です。

北海道を代表する天塩川河口にできた天塩町は、自然が豊かで、食べ物がおいしいです。魚介類は新鮮で、特に天塩のしじみはブランド品と言われるほど有名で、粒が大きく味わい深いものです。乳製品もおいしくテレビで紹介され有名になった「チューチュープリン」もあります。普通のカップに入ったプリンではなく、マヨネーズの容器のようなものに入った独特のプリンは観光客に人気があります。周辺には大規模な農場があり、牛乳を運ぶ大きなミルクローリーを見かけたり、港を朝早く出入りする漁船を見たりする度に、日本の食糧生産を天塩町のような地域で支えてくれているんだなと実感します。

社会教育が盛んで、町民ジョギング大会、町民文化祭や小学生対象の水泳教室など開催されています。

また、町の図書館に蔵書を増やそうと数カ年計画で図書を購入し、小学生の読書活動を大いにバックアップしています。

○　新任校での勤務状況等

担当はTT少人数指導です。主に算数の授業でTT指導をしています。校務分掌は、指導部です。

これまで23年間の教職経験の中で１～６年生をそれぞれ数回受け持ち、それぞれの学年の発達段階やその学年の主要な学習内容など覚えているつもりでしたが、算数TTを担当することにより、1年間のうちにすべての学年の算数の授業を経験できるわけですから、教師としてさらにレベルアップでき、私自身のためにもなり、このような経験を与えていただき有難いです。そして自分の経験の中で気づいた授業の進め方や児童との接し方などの点は、それを伝えて、地域の子どもたちや同じ学校の教師の役に立ちたいと思います。

また、指導部という役割を与えていただき、学校の全ての児童に積極的に関わることができます。１４０名ほどの児童数ですが、顔と名前を覚えました。生徒指導上の問題は地域の教育力がしっかりしているので、そういう点の仕事は全然ありません。職員室の雰囲気が若く活気があり、笑い声がよく起こります。

そんな環境で仕事ができて、毎日が充実しています。

○　生活の状況

単身赴任中ですが、実は家族と過ごす時間は増えたかもしれません。というのはこれまで地域の少年団の指導者をしていましたので、平日は夕方に練習、土日は大会という生活パターンでした。しかし今は少年団活動には関わっておりません。ですから土日は家族とゆっくり過ごすことができます。夏季休業中には休暇を取り、数年ぶりに旅行に行ったくらいです。平日の夜は近くの温泉を巡ったり、趣味のカレイやソイ、カラフトマス釣りに出かけたり、エンジョイしています。家族には単身で寂しいと言っていますが、実は羽を伸ばしているのです(*^。^*)。そしてこれまで以上に健康には気をつけるようにしています。

現任校	函館市立柏野小学校　（前任校）江差町立江差小学校	氏名	澤口　厚平

○　地域の様子

五稜郭公園が近くにあり、周囲には高校が数校ある文教地区です。地域の方々は、放課後の交通安全パトロールや放課後子ども教室等、学校の教育活動に積極的に協力してくださっています。

○　新任校での勤務状況等

５年生を担任しています。分掌は生徒指導部です。学級では、思いやりの気持ちをもって相手に接すること、高学年としての自覚をもって行動できるようにすることを重点に学級経営をすすめています。

○　生活の状況

通勤時の交通量は多いですが、スムーズに通勤ができております。家の近くには、スーパーや飲食店などが多く、便利に生活ができております。

○　その他

地域や学校の様子が大きく変わり最初は戸惑いましたが、職場の雰囲気が大変よく、刺激を受けることが多いです。先生方の教育に対する考え方や指導法を学習することで、充実した毎日を過ごしております。

現任校	厚沢部町立厚沢部中学校　（前任校）北斗市立上磯中学校	氏名	宮川　高宏

○　地域の様子
　全校生徒７６名の小規模校であり、地域の保護者の方々が全ての生徒の顔を知っている状況にある。そのため、地域の教育力や学校に対する関心がとても高い。学校の行事は地域の祭典の一つとなっており、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てている環境にある。当然のことながら、ＰＴＡ活動も盛んに行われ、教師も地域の活動に参加し、とけ込んでいる。

○　新任校での勤務状況等
　３年間の広域人事ということを考慮していただき、１年生の担任を任せていただけた。また、前任校での研究実践等を生かせる研究部所属となった。実践論文などのお手伝いもさせていただき、また秋の公開研に向けても職員一丸となって準備中である。
　管理職や職場の皆様にも、通勤や健康に気を遣っていただいている。

○　生活の状況
　学級担任・分掌業務・部活動と、今までの生活とそれほど変わらない中で、職場や生徒たち、地域にも恵まれ、健康に過ごすことができている。
　檜山教育局や町教委からの国語科に関する研修・講座等への参加要請も多く、自己の力を高めるとともに、若い先生方の授業力向上の一助となれればと思い、活動している

現任校	恵庭市立若草小学校　（前任校）利尻町立仙法志小学校	氏名	菊池　大

○　地域の様子
　「花と緑の町」恵庭市はガーデニングがさかんな町である。また、人口減少が様々な町で問題となっているが、札幌市のベットタウンとして年々人口が増加している。
　市では読書に力を入れて取り組んでおり、生まれたときに本を一冊プレゼントする活動に始まり、小学校でも読書の時間を全校をあげて確保していたり、市の図書館と強く結びつきを持ち、専門の職員も１人配置されている。実際子どもたちの読書の力は高いと思われる。
　中規模校とはいえ、これまで配置されたどの学校よりも遙かに大きな学校のため、PTA活動が全PTAに浸透しているかと言えば難しいが、積極的に自分たちで活動を進めようとする力はとても大きい。

○　新任校での勤務状況等
　５年２組３９名の児童を担任している。校務分掌は保体部。体育施設の管理を主に任されている。同じ部の先生や同学年の先生のアドバイスをいただきながら、大きな規模の学校のやり方やよりいい進め方を学んでいる。
　今回の指導主事訪問で授業を提供させて頂いた。５年生の「三角形や四角形の角」の単元で、４ヶ月近く指導案を高学年ブロック・研修部の先生方と練りあった。その中で、
　・単元全体を見通した計画の重要性
　・自分がどのような授業を組み立てたいのか
　・単元の目標・課題・まとめ・評価の一体化
　・その時間でどんな力を身につけさせるのか
といったことを中心に学ぶことができたと考える。
　振り返ってみれば当然のことだが、人数が多い分、より計画的に進めなければいけないと感じられた。

○　生活の状況
　住宅については要望をあげるとすぐ委員会が動いてくださり、快適に過ごしている。また、ストーブについても校長先生が準備してくださるなど、とても温かく迎えて頂いた。
　始めは外食が多かったが、スーパーなどとても便利で最近では自炊が多くなった。

○　その他
　中・大規模校の経験のため今回の交流人事に乗る形になったが、若草小学校の先生方・PTA、そして子どもたちは温かく迎えてくださった。まだまだ周りの方々に支えられている状況である。早く戦力になれるよう、努力していきたい。

現任校	釧路市立釧路小学校　（前任校）中標津町立中標津東小学校	氏名	多田　真里絵

○　地域の様子
　釧路市内で最も歴史ある地域であり、旧市街を中心に古くからの街並も残っている。平成２０年より、地域の３校が統合したことにより、校区が広く、様々な地域から児童が集まっている。校区内には、天然記念物のヒブナが生息する春採湖の自然をはじめ、芸術館、生涯学習センター、博物館や、遺跡などの文化施設も充実しており、環境教育への有効活用に努めている。
　また、地域住民の方による登校時の交通指導や下校時のパトロール、保護者による毎週水曜日の朝の読みきかせなど、市内の学校としては地域との関わりが密接である。

○　新任校での勤務状況等
　新任校では、３年生を受け持ち、釧路市内の地域の様子や児童の実態、親の願いなどにも寄り添いながら指導に当たるよう心がけている。
　また、研修部では、本校として新たな研修テーマへの取り組みの初年度として、研修の方向性や授業作りについての取りまとめや、校内研修の企画などを行っている。

○　生活の状況
　学校から近いところに住み、交通の便もよく、生活環境が整っている。

○　その他
　教育熱心な先生方ばかりで、日々の授業作りや生徒指導の面において様々にご指導を頂き、サポートして頂いている。本校では、ＩＣＴ機器を使っての授業作りも進んでおり、児童をひきつける授業の導入や教材提示の方法についても学ぶことができる。また、教育大学や遊学館などの教育施設も近いことから、様々な学習会や研修などにも積極的に参加し、視野を広げていきたい。

現任校	岩見沢市立志文小学校　（前任校）新ひだか町立歌笛小学校	氏名	萩澤　志穂里

○　地域の様子
　空知の中心都市の割に自然が多く、生活用品店もそばにあり、大変暮らしやすいです。

○　新任校での勤務状況等
　２年２組（２４名）担任　情報教育係担当
　子どもたちと一緒になってがんばるという気持ちで毎日を過ごしています。すばらしい先輩の先生たちに囲まれて、良いところを見習おうと必死について行っていますが、まだまだ力不足で悔しいことがたくさんあります。
　今は学習発表会に向けて器楽や劇の練習に励んでいます。子どもたちは素直でとてもかわいらしく、一生懸命にがんばってくれています。

○　生活の状況
　休みの日もバレーボール少年団の指導を行っています。体力づくりとリフレッシュのため、毎日景色を見ながらランニングをしています。

○　その他
　こっちでつらいことがあっても、「出てがんばる」と一大決心をして岩見沢に来ました。いろんなことがあって、もう三年くらいたったような半年間でした。子どもたちに何をしてあげられたかは自分でもよくわかっていませんが、子どもたちは楽しそうに学校生活を送っていて、朝，私に合うと笑顔でお話をしてくれます。漢字や計算など、できるようになっていくのを見たり、お友だちと仲良く助け合えるようになった姿を見たりしたとき、「ここに来てよかった。先生になってよかった」と思って、つらいことも乗り越えていける元気をもらっています。

【編集後記】
　多数先生方から近況報告をいただきましてありがとうございました。それぞれの地域で元気に頑張っている先生方の姿が全道的に伝わることができたら幸いです。
　平成２４年度においても、積極的に広域人事を実施いたしますので、広域人事を考えている先生がおられましたら、これらの近況報告も参考にしてください。
　なお、新たに近況報告が届きましたら、第２号として御紹介させていただきます。

小中学校人事グループ